

組合設立50周年記念事業の開催



石井理事長

1月23日(木)14時から大さん橋ホールにおいて記念式典・講演会・祝賀会が開催された。記念式典では、まず、主催者を代表して石井理事長から、ご出席のお礼や組合の沿革の説明があり、支えてくださった関係者への感謝の言葉、これまでの50年間の自負を持った取り組みや、今後の安心・安全な製品・サービスの提供、働き甲斐のある鉄鋼業界の構築などの社会貢献について、100周年を目指す抱負を語り、一層のご理解、ご協力、ご支援をお願いした。

来賓を代表して、一般社団法人全国鐵構工業協会の永井会長様、一般社団法人神奈川県溶接協会の吉野会長様、神奈川県中小企業団体中央会の長谷川副会長様から、ご祝辞をいただいた。

その後、現在作成中の記念誌の表紙を飾る写真募集に対して、慎重な審査の結果、鈴木昭典氏の「マリントワー」の写真と、小宮裕美氏の「芦ノ湖と富士山」の写真が優秀作品として選ばれたことが報告され、表彰式が行われた。



永井会長

次に、元バレーボール全日本代表主将で、バレーボール解説者の川合俊一氏から「逆風からの立て直し方」というテーマで、ご講演をいただいた。



高橋産業振興課長

これまでのリーダーシップ発揮や組織運営のご経験から、工場経営や人材育成などの参考になるお話を伺えた。

最後に祝賀会が開催された。祝賀会からご出席の方も多かったため、駆けつけてくださった、神奈川県の高橋産業振興課長様、菅義偉・元内閣総理大臣の代理の新田様、加藤神奈川県議会議員様、鶴澤横浜市建築局長様からご祝辞をいただいた後、一般財団法人日本溶接技術センター常務理事の阿南様の乾杯のご発声で祝賀会が開宴した。ご発声に合わせて、舞台後方の幕が開き、横浜港の夜景が背景となった。



阿南常務理事

祝賀会半ばで、一般社団法人ユースクラシックの、歌や管弦楽器合わせて6名の奏者による演奏が披露され、祝賀会に花を添えた。

また、近藤元理事長のご挨拶を経て、加藤相談役・元理事長の中締と御礼挨拶で、楽しい宴が閉幕した。二人の元理事長のお話は、組合の歴史を知る貴重な機会となった。

記念事業の出席者は、来賓26名、組合員39社53名、賛助会員19社35名、講師1名、事務局等3名の計118名であった。

講演「逆風からの立て直し方」 公益財団法人日本バレーボール協会 会長 川合俊一氏

公益財団法人日本バレーボール協会は数年前に不祥事が発覚し、信用を失った事案があった。

そこから、会長の選任、ガバナンス・コンプライアンスの確立、別件の問題が発生したときに積極的に公表・謝罪会見を実施したことから、組織の信用を取り戻すことができた。

また、選手が飛行機で移動する際、エコノミークラスからビジネスクラスにするなどして選手を大切にすることを示すことにより、個々の選手も力を発揮できるようになり、昨今ではバレーボール男子日本代表は世界的にも活躍できる状況になっているというお話をユーモアを交えながらご講演いただいた。

組織のガバナンス・コンプライアンスの確立や問題事案の積極的な公表など、また選手の強化方法は、鉄骨工場における経営や人材育成に通じる興味深いお話で、受講者からも多くの質問が出された。組織の不祥事や人権侵害が話題となっている中、皆の関心が高い、時宜に適した有意義な講演会であった。

講演後、学生時代のバレーボール部と一緒に汗を流した富士前副理事長から当時のエピソードが披露され、花束贈呈とともに御礼を申し上げた。





神奈川県鉄構業協同組合  
設立50周年記念式典・祝賀会

組合員と賛助会員  
全員で記念撮影



ユースクラシックの歌と演奏  
背景は横浜港の夜景です



記念誌表紙写真コンテスト入選の  
鈴木昭典氏（中）と小宮裕美氏（右）



小原理事（横浜支部長）が優良役員表彰を受賞

1月16日（木）10時30分から横浜ベイシェラトンホテル&タワーズで行われた神奈川県中小企業団体中央会の賀詞交歓会の席上において、小原理事は中央会森会長から、多年にわたり組合役員として組合の発展と業界の振興に尽力されたとして、表彰された。



優良組合として表彰された「平塚鉄工業協同組合」の代表として出席していた柳川理事と小泉進次郎衆議院議員と一緒に記念撮影。

